

川西里山・水辺をつなぐ会 ニュース

川西地区における里山や水辺の自然を守り、かけがえのない自然を未来の子どもたちに引き継ぎ、地域の交流を深め、地域づくりに寄与することを目的に、地域の団体がゆるやかに連携し活動しています。

浦野里山を守る会

3月に浦里小学校卒業記念樹として染井吉野桜を卒業生と植樹をし、昭和40年代前に植え付けたと思われる桜並木に補植を実施しました。樹齢を迎えると思われる木々が天神山に多くあるため、計画的に桜の植樹を進めていく予定です。5月には市村芳紹さんが養成していただいたフジバカマを浦里小四年生と定植を行い、秋には多くのアサギマダラの飛翔を確認することができました。

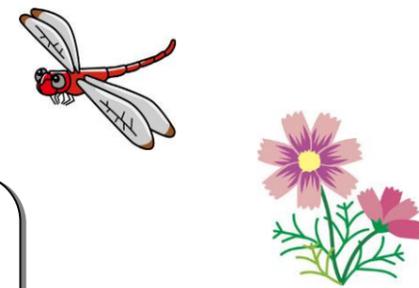
本年度も「観月会」を実施することが出来ませんでした。浦野ボランティア会の皆さんと一緒に天神山、御射山祭広場への遊歩道整備を数回実施しました。



阿鳥川コスモスの会

今年も阿鳥川にコスモスの苗を浦里小学校の三年生の皆さんに植樹をして頂き、元気なコスモスに育ちました。色とりどりの花を咲かせ、素晴らしいコスモス街道になり、地域の散歩道として多くの住民に利用され、感謝されています。

今年度も、コロナウイルスの感染の終息が見られない中、9月に三年生と会員でコスモス交流会を実施しました。10月には浦野自治会の皆さんでコスモス等の除草を行い、今年度の事業は終わることが出来ました。



室賀川に水辺を甦らせる会

コロナ禍、世間一般と同様に今年もイベント等は計画倒れとなってしまいました。しかしながら、水辺公園一帯の桜並木は見事な花を咲かせ、例年よりも多くの方が鑑賞に訪れていました。今年の「蛍」の出没状況の把握に役員有志で出掛け、6月20日をピークに50~70匹を確認し、同時に有線放送で出没状況をお知らせし、数十人が散策に訪れました。

3シーズンを通して草刈など公園一帯の環境整備を行い、子供を含む延べ110名に汗を流していただきました。会も発足から15年が経過し、世代交代も始まりました。



町小泉アヤメを育む会

今年もアヤメ祭りはできませんでしたが、残念。年次計画に沿って作業を進めてきましたが、あまりにも草の勢いが凄くて、年4回の草刈計画の3回目で全面刈取となりました(1か所を除く)。焼却は11月12日(土)で終了となりました。草刈機の刃と手鎌を新調し、作業を通じて会員の皆さんとの交流を図ることができました。



岡の里山を守る会

今年も「岡の森」でフジバカマとウマノズクサの手入れをしました。アサギマダラの飛来は期待していたよりも少なかったですが、花園でマーキングした蝶が1ヶ月後に三重県御浜町で捕蝶されたとの連絡があり、久しぶりに蝶の力強さを感じました。また、「蝶の舞う学校」を目指している川西小学校でも、旅するチョウや地元のチョウとのふれあいのお手伝いをやってきました。児童がマーキングしたアサギマダラが羽に夢を乗せて運ぶ喜びを味わうとともに、学校の軒下からはたくさんのジャコウアゲハが一斉に舞いだし、児童を楽しませてくれました。



愛宕山ふれあい遊歩道整備事業実行委員

仁古田愛宕山ふれあい遊歩道整備実行委員会は、里山である愛宕山に遊歩道を作り毎年整備を続け11年目を迎えました。今年もコロナウイルスへの感染防止のため、子どもたちも交え賑やかに開催していた「植樹祭」は中止としました。整備作業としましては、例年行っている草刈り作業やフジバカマ畑の整備に加えて、川西まちづくり委員会の支援金をいただき、老朽化して倒壊の危険性のある表示柱10本を新しくすることができました。

